

## 隆盛コンサルタント「SDG s への取り組み」について

### (1) SDG s への取り組み

2015年に国連で「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)が採択され、世界全体が2030年までに達成すべき共通目標が示されました。

弊社は沖縄県において、建設コンサルタントとして県内の水道施設の調査・計画・設計・地図情報システム構築維持管理の業務を実施してきました。

今後は、人の生活に欠かせない水を安定供給するため、技術を研鑽し、持続可能な開発の一助となるようSDGsの活動へ取り組んでいきます。

### 当社の取り組み内容

- ① 若者、女性の活躍の推進により人材投資の強化を行っている。(ゴール5及びゴール8)
- ② 育児休暇、看護・介護休業は就業規則化済み。(ゴール3)
- ③ 長時間労働の是正、属人化の防止、業務効率化を進めている。(ゴール8)
- ④ 経営の多角化を目的として、海外展開にも積極的に挑戦しており、JICA事業にてサモア独立国で浄水場設計を行った。(ゴール6)
- ⑤ 人が生活するうえで必要不可欠な水を、安定して供給できるよう、水道施設の計画・調査・設計を行っている。(ゴール6及びゴール11)
- ⑥ 職員の技術力向上、誇りある働き方を実現するために社内勉強会、県外講習会への積極的な参加を行っている。(ゴール8)
- ⑦ JICAや琉球大学からの要請を受け、これまで3人の外国人留学生をインターンシップとして受け入れてきた。今後も積極的に留学生の受け入れを行う。(ゴール17)
- ⑧ 薬品を極力使わない浄水方法(生物浄化法)を研究し、普及活動を行う。(ゴール6)

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## (2) SDGs 活動の報告

### ①若者、女性の活躍の推進により人材投資の強化を行っています。

若手職員を積極的に採用し、20代の職員は33%、30代が24%となっています（R3年5月）。

女性職員の中途採用を行い活躍してもらっています。



### ②育児休業、介護休業は就業規則化しており多様な働き方を推進しています。

介護休業、育児休業を就業規則で決めました。現在、職員が育児休業制度を利用しています。



### ③長時間労働の是正、属人化の防止、業務効率化を進めています。

残業削減に本気で取り組んでいます。R1年度の残業時間がH30年度と比較すると、約半分の時間数となっています。

また、職員の年休取得率は70%を超えています。時間休の取得が可能であり、子育て世代に合わせた働き方を実現しています。



表. 職員数と総残業時間（年間）

年度	職員数	総残業時間
H30	14人	1,035
R1	17人	521
R2	19人	622

表. 年休取得率

H30	71.5%
R1	75.1%
R2	70.0%

### ④経営の多角化を目的として、海外展開にも積極的に挑戦しています。

弊社は、JICAのサモア独立国でのODA事業に“補強”として参加し、1つのポンプ場の設計を担当しました。

この浄水場よりサモアの人々に“安全な水”が配られています。



Tapatapao 浄水場



Alaoa ポンプ場



サモアの職人と

### ⑤人が生活するうえで必要不可欠な水を、安定して供給できるよう、水道施設の計画・調査・設計を行っています。

離島の浄水場、ポンプ場、配水池など水システム全体を考え、効率的に配水するための施設を設計しています。

また、「住み続けられるまち」を作るために、重要なインフラである水道をこれから先も安定して供給できる手伝いをしています。



⑥職員の技術力向上、誇りある働き方を実現するために社内勉強会、県外講習会への積極的な参加を行っています。

講習会費用の補助や、講師を呼んでの社内勉強会、県外講習会への派遣など、「会社全体で技術者を育てる」ことを実行しています。



表. 社内勉強会（隆盛ビジョンの策定）



⑦JICA や琉球大学からの要請を受け、外国人留学生をインターンシップとして受け入れています。

弊社ではこれまで、JICA や琉球大学からの依頼を受け、積極的に留学生の受け入れを行い、国際交流と、水道の大切さ、安全な水の重要性を伝えてきました。



今後も機会があれば積極的に留学生、県内学生のインターンシップ生を受入れます。

⑧薬品を極力使わない浄水方法（生物浄化法）を研究し、普及活動を行っています。

宮古島市で利用している生物の活動を利用した浄水方法（生物浄化法）を研究しています。現在の技術を確立させて、海外で水に困っている地域へ適用できるよう普及活動を行います。

